

平成 23 年度ホタテガイ採苗情報（第 6 報）

平成 23 年 6 月 24 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



稚貝の付着は依然として継続

< 調査結果の概要 >

- ラーバは県中部で大型個体が多数出現。
 - 唐丹湾の水深 10m 層の水温は 10.6℃と、例年より低め。
 - 付着稚貝数は県中部では高水準で推移し、県中南部では大幅に増加。付着は継続。
- < 宮城県北部の状況：稚貝の付着が継続（6月17日発行採苗通報） >
- ラーバは大型個体を主体に 7~53 個/m²。個体数は微増。
 - 試験採苗器の付着稚貝数は 64~123 個/袋（7日間）。付着は継続。

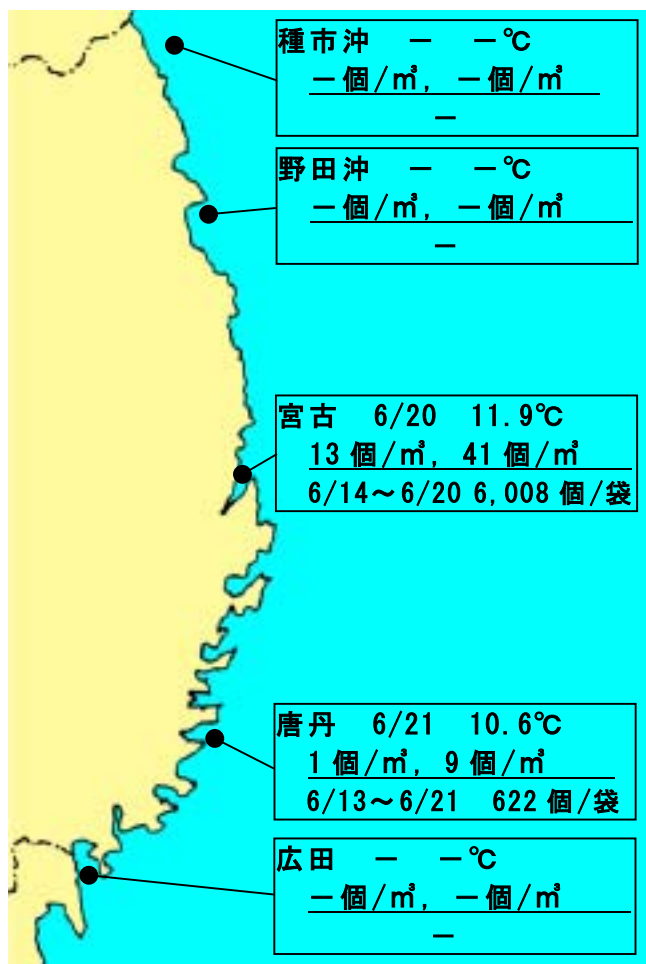


図 1 各定点の調査結果

| 調査点 | 調査日 | 10m層水温 |
|-----|------|--------|
| 種市沖 | - | -℃ |
| 野田沖 | - | -℃ |
| 宮古 | 6/20 | 11.9℃ |
| 唐丹 | 6/21 | 10.6℃ |
| 広田 | - | -℃ |

ラーバ出現数 (200μ未満、200μ以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

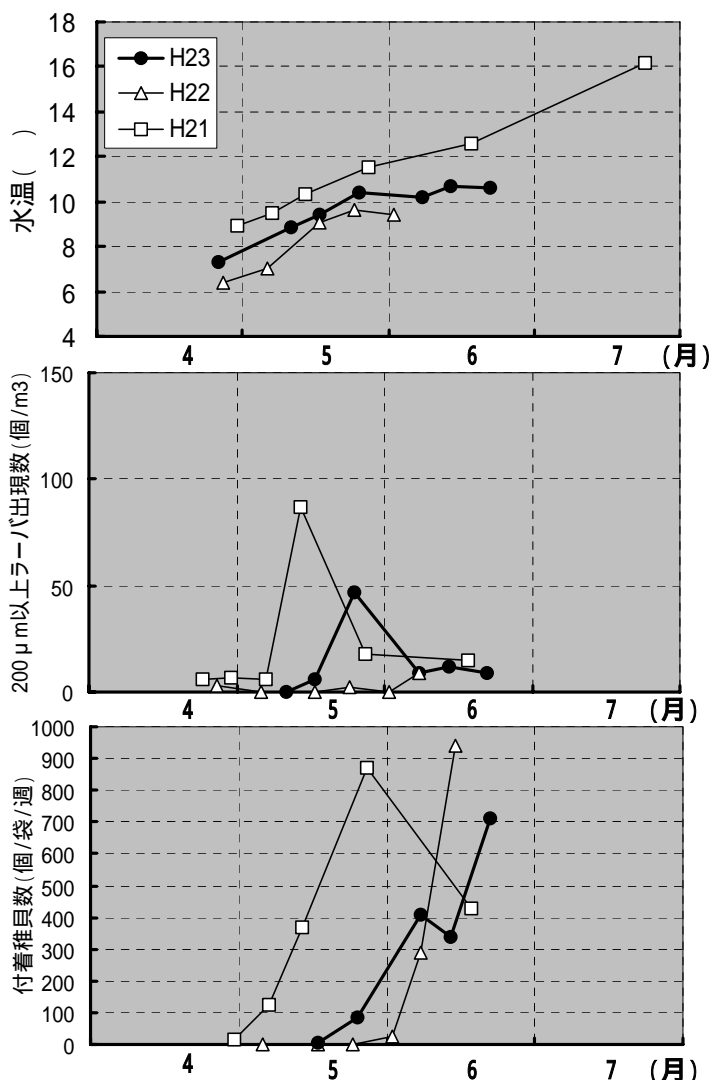


図 2 唐丹湾における水深 10m 層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、7月1日に発行する予定です。